

令和6年度

カミツキガメ通信

発行：令和6年4月



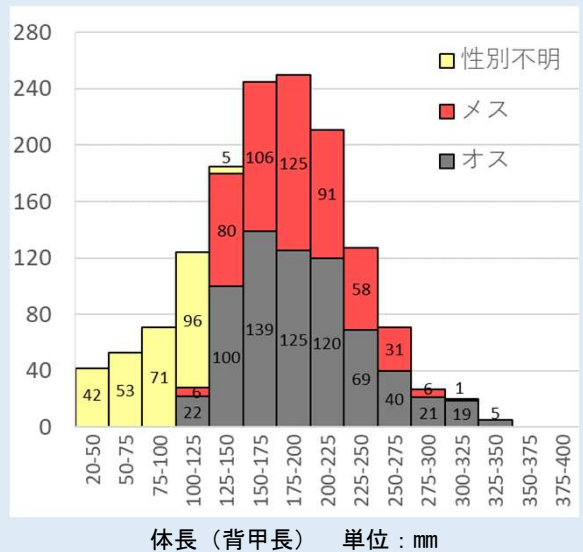
カミツキガメの成体（オス）

千葉県では、生態系や農林水産業に被害を与えるおそれのあるカミツキガメについて、主にワナによって捕獲する捕獲事業と、県民からの通報に基づいて市町村や警察が收容する緊急收容の2つの体制で防除を行っています。今回は、令和5年度の結果と、これまでの取組の成果についてお知らせします。

捕獲事業の結果

- ・5月～9月までは、主に誘引エサを用いたワナによる捕獲、その他の時期は手探り等ワナ以外の方法によって、カミツキガメを捕獲しています。
- ・その結果、令和5年度は、計1,439頭（オス660、メス504、性別不明267、欠測8）のカミツキガメが捕獲されました（※性別不明は幼体で、見た目では性別が判断できなかったもの、欠測は性別の記録がなかったもの）
- ・捕獲されたカミツキガメの体長（背甲長）は、オスは150～175mm、メスは175～200mm、性別不明は100～125mmが最も多く、300mm以上の個体は非常に少ない結果となりました。

捕獲数



体長（背甲長） 単位：mm

図. 令和5年度に捕獲されたカミツキガメの体長（体長が欠測であった計8頭を除く）

緊急收容の結果①

- ・県民のみなさんの協力により、令和5年度は105頭（オス45、メス38、性別不明22）の捕獲がありました。
- ・月ごとの捕獲数は、カミツキガメが活発に動く6月が最も多くなり、その後は減少しました。カメの活動期と農繁期が重なる春先に目撃例が増えています。
- ・10月以降は、気温や水温が下がるにつれ、カミツキガメが動かなくなるため、目撃・発見される例もほぼなくなりました。

捕獲数

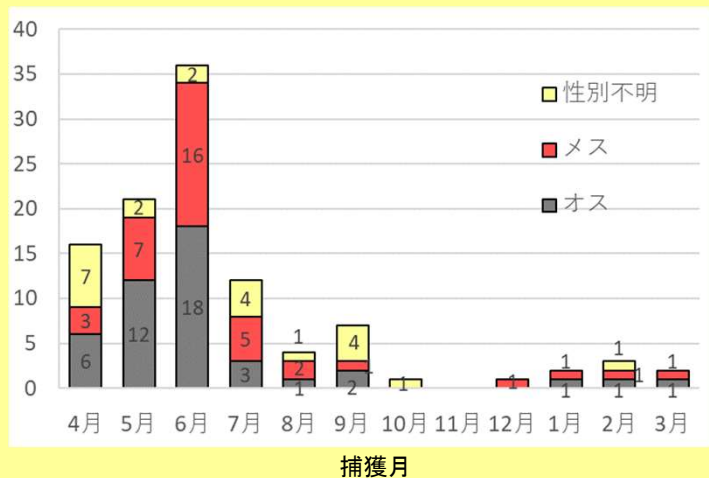


図. 令和5年度に收容したカミツキガメの月ごとの捕獲数

発行：千葉県環境生活部自然保護課
生物多様性センター
〒260-8682 千葉市中央区青葉町955-2
(千葉県立中央博物館内)

TEL 043-265-3601
URL <https://www.bdcchiba.jp/kamitukigame>
Mail webmaster@bdcchiba.jp

緊急收容の結果②

- ・発見された環境は、水田が最も多く、2番目に道路、3番目に水路が多い結果となりました。この3環境で、全体の70%以上を占めました。
- ・緊急收容は、カミツキガメと人が遭遇した結果によるものです。カメの生息環境と農作業が重なる水田・水路や、産卵などのため人の生活圏を移動する道路上などで多く確認されています。
- ・緊急收容の数は徐々に減少傾向となっていますが、引き続き発見された場合は通報・連絡にご協力をお願いします。

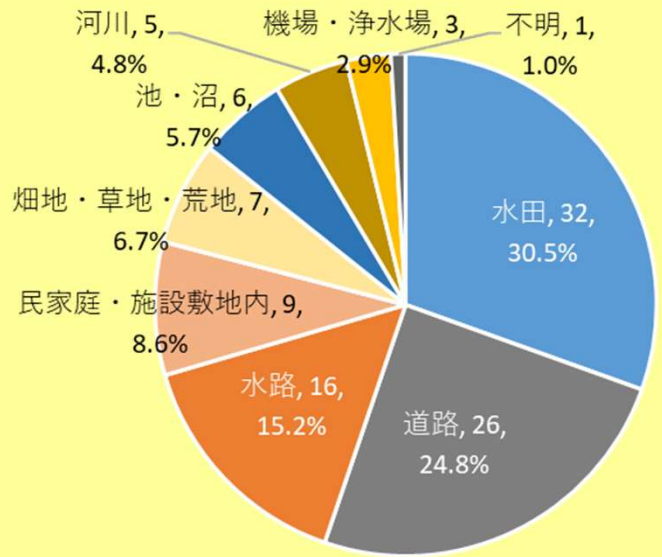


図. 令和5年度に緊急收容があった環境 (数値は各環境における捕獲数を示す)

これまでの取組の成果

平成19年度から開始した捕獲事業では、これまでに、15,090頭のカミツキガメを捕獲しました。捕獲対象地を拡げたり、捕獲方法を工夫することによって、捕獲数は増加しています。

また、平成18年度から開始した緊急收容では、これまでに2,680頭を收容し、捕獲事業との合計は17,770頭に達しています。

県ではこれらの捕獲データを基に、個体数の推定や生息状況等の解析を行っています。県民のみなさんからの通報が防除に大きく役立っています。

捕獲数

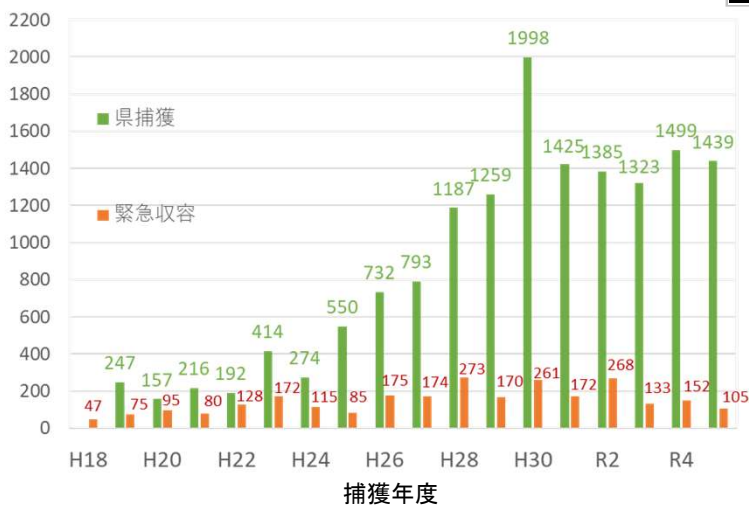
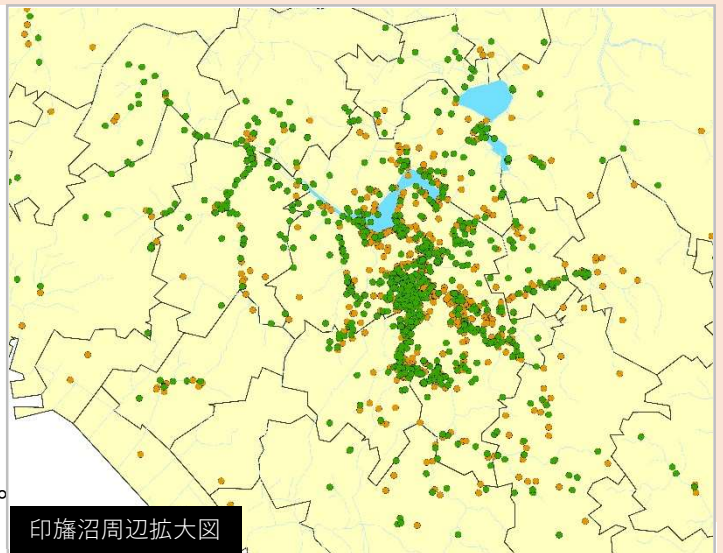
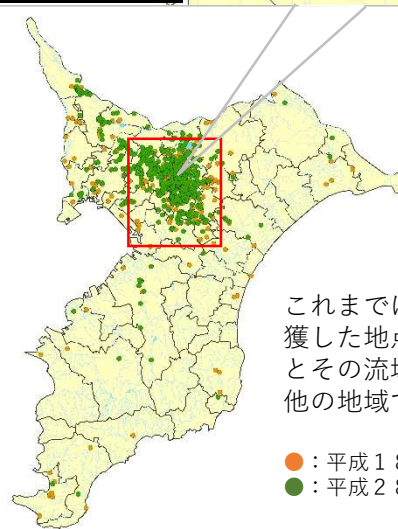


図. 防除事業におけるカミツキガメの捕獲数の推移



印旛沼周辺拡大図



これまでに緊急收容により捕獲した地点(累計)。印旛沼とその流域に集中しているが、他の地域での発見例もある。

● : 平成18年度～平成27年度
● : 平成28年度～令和5年度

○ 野外でカミツキガメを見つけたら・・・

野外でカミツキガメを見つけた場合、手を出したり、捕まえようとせずに、地元の市町村または警察に連絡してください。